



大幸薬品

2023年12月期 (FY2023) 第1四半期 連結決算報告

2023年5月

大幸薬品株式会社

証券コード：4574

1. 第1四半期 連結決算業績

2. 第1四半期 セグメント別事業概況



1. 第1四半期 連結決算業績

- 売上高は、医薬品事業・感染管理事業共に増収
- 棚卸資産評価損・返品等の影響縮小や、販管費のコスト削減に努めたことから、前年同期比では業績改善

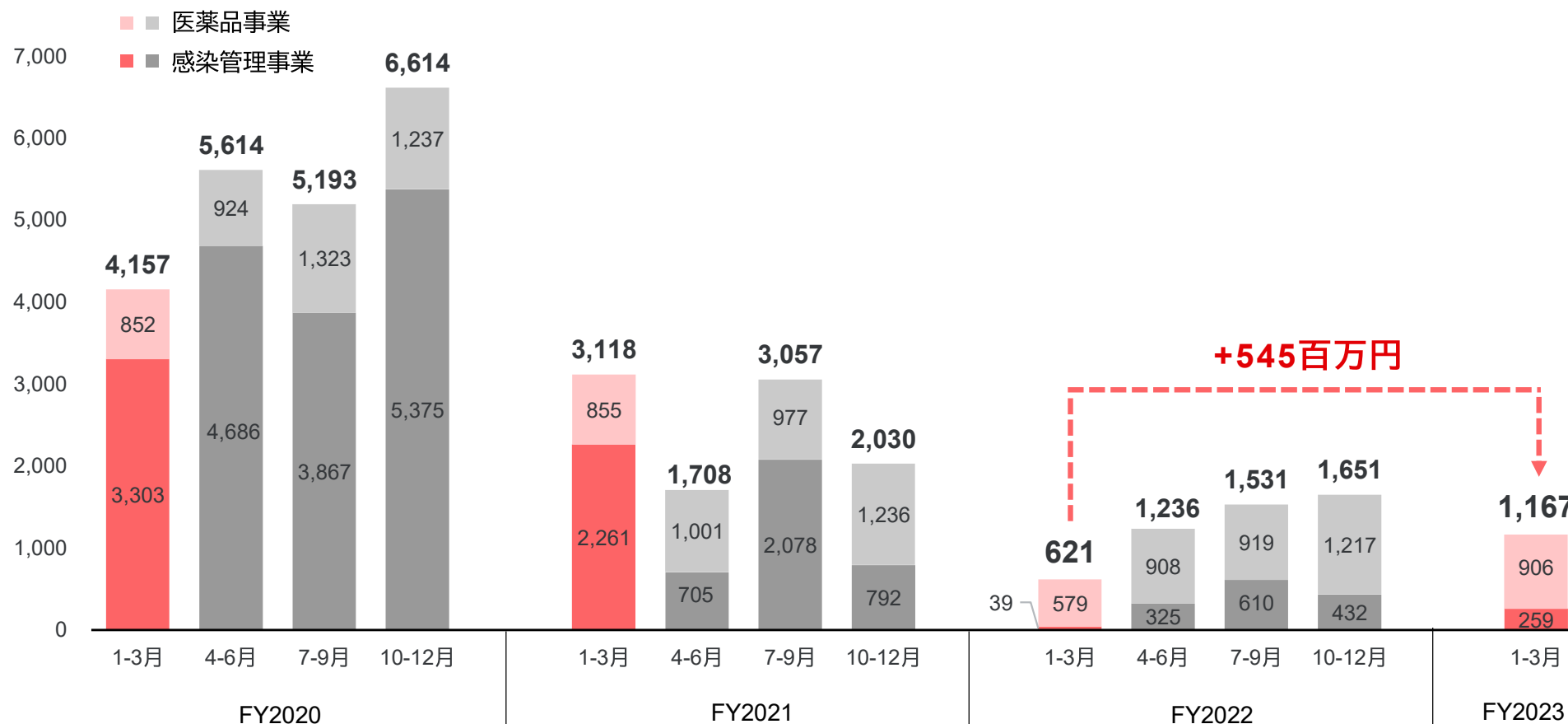
(単位:百万円)

	FY2022		FY2023		増減額	増減率
	第1四半期 累計実績	売上比	第1四半期 累計実績	売上比		
売上高	621	-	1,167	-	+545	+87.8%
売上総利益	△540	△86.9%	574	49.2%	+1,114	-
販管費	1,131	182.1%	729	62.5%	△401	△35.5%
営業利益	△1,672	△269.0%	△155	△13.3%	+1,516	-
経常利益	△1,743	△280.5%	△242	△20.8%	+1,500	-
四半期純利益	△1,748	△281.4%	△243	△20.9%	+1,505	-

連結売上高推移(四半期)

- 医薬品事業は堅調な需要と供給体制の強化により増収
- 感染管理事業は措置命令の各種影響(返品等)が縮小し、前年同期比では増収

(単位:百万円)

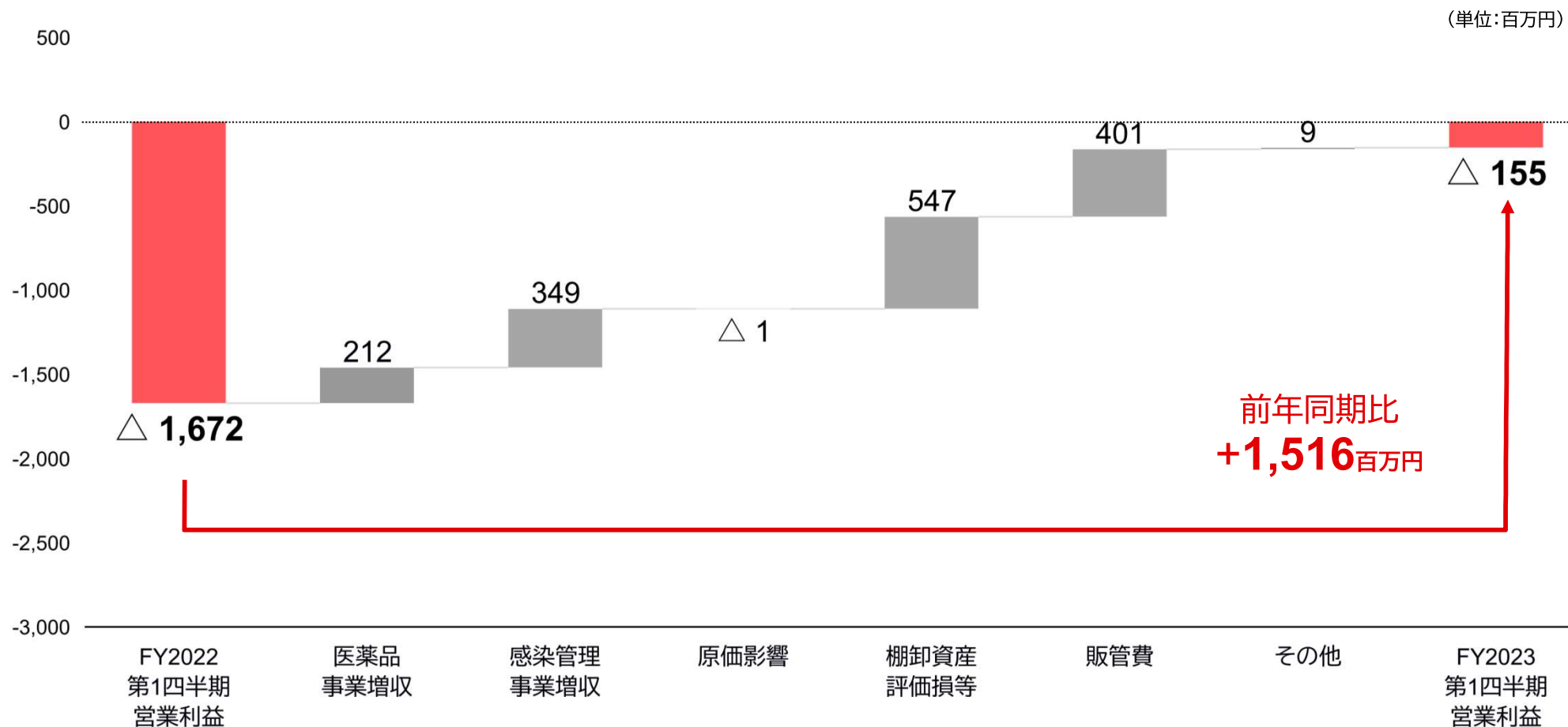


← 従来基準 新基準※ →

※「収益認識に関する会計基準」等を適用

営業利益の変動要因

- 医薬品事業の増収影響に加え、感染管理事業の棚卸資産評価損や措置命令に関連する返品等の影響縮小により、前年同期比で大幅に改善
- 販管費は前年同期比で大幅圧縮



販売費及び一般管理費

- 構造改革を継続して推進し、販売費及びその他経費は大きく減少
- 前期に実施した希望退職等により人件費も減少し、収益体質の改善は進捗

(単位:百万円)

	FY2022		FY2023		増減額	増減率
	第1四半期 累計実績	構成比	第1四半期 累計実績	構成比		
販売費及び一般管理費合計	1,131	-	729	-	△401	△35.5%
販売費	306	27.1%	149	20.5%	△157	△51.3%
広告宣伝費	97	8.6%	46	6.4%	△51	△52.5%
販売促進費	81	7.2%	47	6.5%	△34	△42.1%
運送費	126	11.2%	55	7.6%	△71	△56.3%
人件費	426	37.6%	291	40.0%	△134	△31.5%
その他経費	399	35.3%	288	39.5%	△110	△27.7%
研究開発費	121	10.7%	56	7.8%	△64	△53.3%
支払手数料	121	10.7%	86	11.9%	△34	△28.3%

経常利益・四半期純利益

- 感染管理事業に係る工場の操業停止が継続しており、操業停止関連費用(79百万円)を営業外費用に計上

(単位:百万円)

	FY2022 第1四半期 累計実績	FY2023 第1四半期 累計実績	前期比	増減要因等
営業利益	△1,672	△155	+1,516	
営業外収益	22	15	△6	主に為替差益(前期)の影響
営業外費用	94	102	+8	主に為替差損(今期)の影響
経常利益	△1,743	△242	+1,500	
特別利益	-	-	-	
特別損失	2	-	△2	
税金等調整前四半期純利益	△1,745	△242	+1,503	
法人税、法人税等調整額	3	1	△1	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△1,748	△243	+1,505	

■ 安定的かつ持続的な成長と財務基盤の強化を目的としたエクイティファイナンスを実施
(2023年3月1日発行決議)

(単位:百万円)

	FY2022 期末	FY2023 第1四半期末	前期比	増減要因等
流動資産	7,556	7,106	△449	
現金及び預金	3,105	3,117	+11	
売上債権	1,798	1,744	△54	債権の回収により減少
棚卸資産	1,952	1,984	+31	
固定資産	7,489	7,297	△191	
資産合計	15,046	14,404	△641	
流動負債	2,793	2,625	△167	未払金、1年内返済長期借入金の減少
固定負債	4,208	3,921	△287	長期借入金の減少
純資産	8,044	7,857	△186	四半期純損失の計上、新株予約権の発行等
負債純資産合計	15,046	14,404	△641	
自己資本比率	53.5%	54.5%		



2. 第2四半期 セグメント別事業概況



セグメント別事業概況

- 医薬品事業 : 主に国内向けの増収により、セグメント利益は大幅増益
- 感染管理事業 : 前年同期に比べ、棚卸資産評価損の減少や費用抑制により、損失幅は改善

(単位:百万円)

		FY2022 第1四半期 累計実績	FY2023 第1四半期 累計実績	増減額	増減率
医薬品事業	売上高	579	906	+326	+56.4%
	セグメント損益	13	215	+202	-
	利益率	2.3%	23.8%	-	-
感染管理事業	売上高	39	259	+219	+556.1%
	セグメント損益	△1,318	△124	+1,194	-
	利益率	-	△48.0%	-	-
その他事業	売上高	2	1	△0	△7.3%
	セグメント損益	△6	△5	+0	-
	利益率	△303.9%	△389.3%	-	-

- 国内医薬品事業は堅調な需要と他社製品欠品の影響もあり大幅増収
- 今後更に供給量を強化し、早期に一部製品で実施している出荷制限解除を目指す

製品カテゴリー別売上高

(単位:百万円)

	FY2022	FY2023	増減額	増減率
	第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績		
国内医薬品事業売上高	557	848	+291	+52.2%
正露丸	251	543	+292	+116.2%
セイロガン糖衣A	357	355	△1	△0.5%
正露丸クイックC	16	59	+43	+266.3%
その他 ※	15	17	+2	+13.9%
返品・値引・協賛等	△82	△128	△1	—

※ 整腸薬「ラッパ整腸薬BF」、止瀉薬「ピシャット」等

正露丸



セイロガン糖衣A



正露丸クイックC

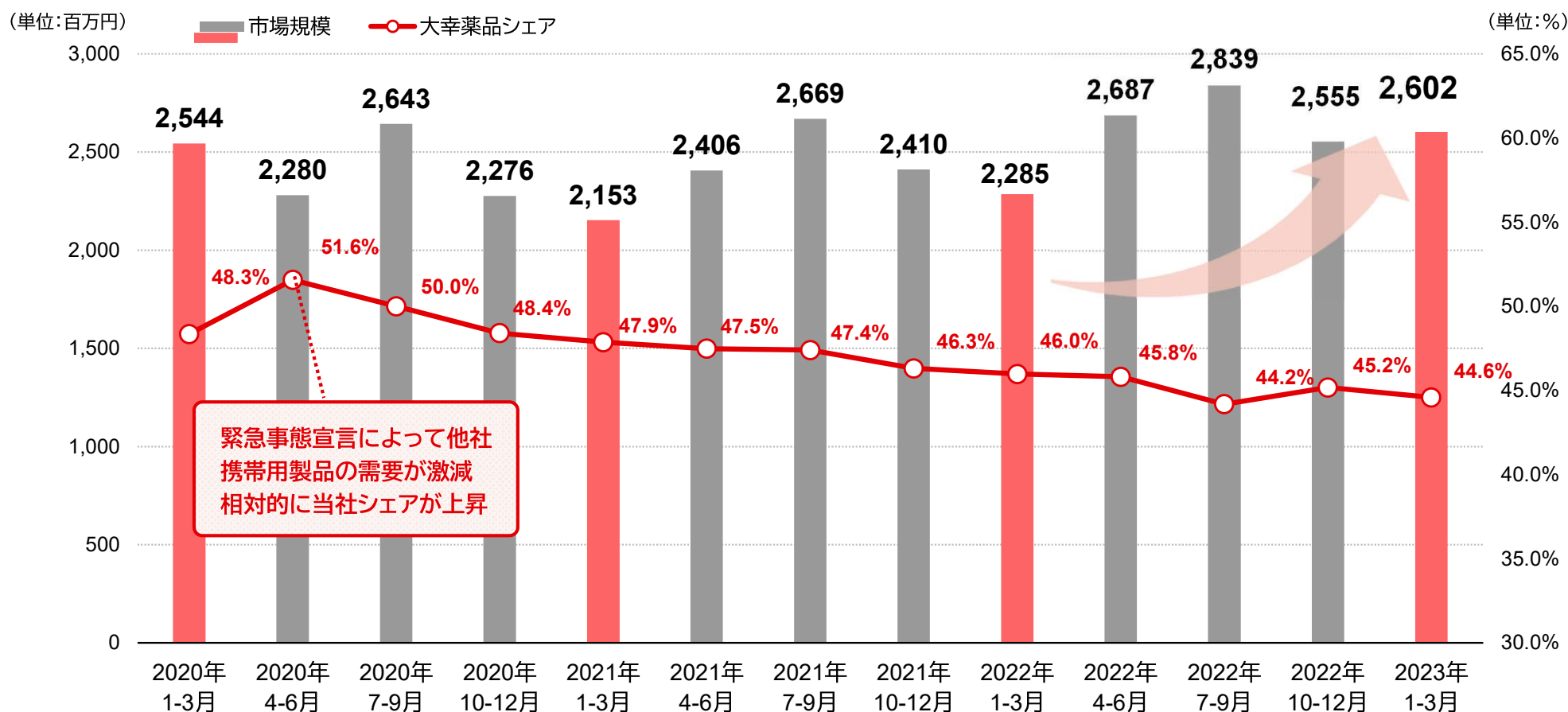


ピシャット下痢止めOD錠



- 国内止瀉薬市場は、堅調に推移しておりコロナ前の水準に回復
- 当社シェアは供給不足により若干下落も、足元は供給体制の強化に合わせ回復傾向

国内止瀉薬市場



※出所：株式会社インテージSRI+、店頭小売価格ベース

- 製造スケジュール調整により十分な供給量に至らないものの、前年同期比では増収
- 第2四半期以降、順次出荷が進捗する見通しで、中華圏の需要への対応を急ぐ

地域別売上高

(単位:百万円)

	FY2022	FY2023	増減額	増減率
	第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績		
海外医薬品事業売上高	22	58	+35	+161.9%
中国	36	63	+26	+71.9%
香港	—	—	—	—
台湾	—	—	—	—
その他対象エリア ※	—	17	+17	—
返品・値引・協賛等	△14	△22	△7	—

※ 米国、カナダ、タイ、マレーシア、モンゴル等

正露丸



セイロガン糖衣A



- 措置命令の影響もあり、市場需要は低水準で推移
- 前期に多額の返品や返品見込額の計上があったことから、前年同期比で売上高は増加
- 2023年秋冬における売上回復に向け、営業・マーケティング施策の検討を推進

対象顧客別売上高

(単位:百万円)

	FY2022	FY2023	増減額	増減率
	第1四半期 累計実績	第1四半期 累計実績		
感染管理事業売上高	39	259	+219	+556.2%
国内一般用	501	121	△379	△75.7%
国内業務用	217	146	△71	△32.7%
海外	50	34	△15	△31.6%
返品・値引・協賛等	△729	△43	+686	—





大幸薬品

将来情報に関する注意事項

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません